

様式 1**事前課題：「事例研究」【個別援助事例】について**

■研修を受講するに際し本事前課題を提出願います。

■検討・相談したい事例を具体的に記載願います。

■事前課題の留意事項は以下のとおりです。

①事例研究にかかる記載内容は以下の項目を記載願います。

②提出フォーム:A4版用紙(縦)、横書き(字数40字×30行)にて記載願います。

③原則、添付フォーム(様式1:フォーム)を使用してください。

④文体は、常体(「…だ。…である。」)にしてください。

■記載内容の項目

1. 受講者情報

①都道府県・市名:○○県(□□市)

②施設名:○○苑

③職種名:

④受講者氏名:

2. 事例研究 「題名」(事例の内容がわかるように工夫すること)**3. この事例を取り上げた理由・動機****4. 事例の概要 (※利用者個人が特定できないように配慮すること)**

(1) 氏名・性別・年齢	(例) A氏・男性・67歳
(2) 入所年月	平成○年○月入所 (在所期間○年○か月)
(3) 入所理由	
(4) 現在の心身の状況	障害支援区分、パーソナリティの傾向を含む
(5) 既往病歴	
(6) 生活歴の概要	最終学歴・職歴・家族歴等を含む
(7) 家族構成図	家系図の様式。入所前の家族は点線で囲む (女○、男□、死亡●■)
(8) 施設内友人との交流関係	
(9) 趣味・クラブ活動等の参加状況	
(10) その他	事例を理解するために必要な事項等を記載する

5. 援助経過の要約 (この部分がメインとなるので、具体的に記述すること)

①初期の状況(問題の発生、アセスメント、支援計画、実施結果等)

②中期の状況(その後の変化、アセスメント、支援計画、実施結果等)

③現在の状況・今後の見通し

6. 評価と反省

様式 1

【記入例】

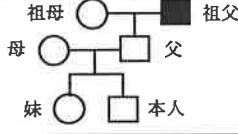
1. 受講者情報

東京都 渋谷苑 生活支援員 福祉 花子

2. 事例研究 「強度行動障害に対するグループホームでの支援について」**3. この事例を取り上げた理由・動機**

A氏は入居当初より自傷行為や他害行為があり、他の利用者への影響も大きく支援方法について試行錯誤している状況である。A氏が落ち着いて過ごしていただくために支援者による支援方法の統一化を図るなどの対応をしているが改善が見られないでこの事例を取り上げた。

4. 事例の概要（※利用者個人が特定できないように配慮すること）

(1) 氏名・性別・年齢	(例) A氏・男性・30歳
(2) 入所年月	平成27年5月入所（在所期間1年11か月）
(3) 入所理由	母親/父親は精神疾患があり、家庭環境にも問題があり児童相談所に保護される。その後、乳児院を経て知的障害児施設へ入所となる。
(4) 現在の心身の状況	障害支援区分：判定6。療育手帳は判定○A（重度） 言葉は単語での会話のみであり、・・・・
(5) 既往病歴	緑内障（左目）、白内障（右目）等の視力低下
(6) 生活歴の概要	特別支援学校の高等部卒業。就労経験はなく、グループホームに入居してからも一人で外出することは難しい状況である。
(7) 家族構成図	 <pre> graph TD G(()) --- M(()) M --- P(()) P --- C(()) C --- D(()) style G fill:#fff,stroke:#000 style M fill:#fff,stroke:#000 style P fill:#fff,stroke:#000 style C fill:#fff,stroke:#000 style D fill:#fff,stroke:#000 </pre>
(8) 施設内友人との交流関係	友人はなく、本人から人に関わろうとしない。
(9) 趣味・クラブ活動等の参加状況	趣味はなく。好きなテレビ番組を視聴して過ごすことが多い。
(10) その他	支援者が関わることも拒む傾向がある。

5. 援助経過の要約（この部分がメインとなるので、具体的に記述すること）**① 初期の状況（問題の発生、アセスメント、支援計画、実施結果 等）**

グループホーム入居当初は自閉症傾向が強いため、ある程度1日の行動をスケジュール化し支援を行った。・・・
(中略)・・・支援員の指示を聞けるようになった。

② 中期の状況（その後の変化、アセスメント、支援計画、実施結果 等）

身体には不自由な部分はないため、テレビ鑑賞の時間を減らして公園などでウォーキング時間を取り入れるようにした。・・・(中略)・・・体を動かすことで精神的な落ち着きが見られるようになった。

③ 現在の状況・今後の見通し

自傷行為は減少傾向にあるが、精神的に不安定な状況の時の他害行為は減少していない。・・・(中略)・・・
落ち着いて過ごしてもらうための支援を試行錯誤している現状である。

6. 評価と反省

支援員の失敗事例や成功事例を共有しながら対応を行うも大きな成果が得られていない状況である。・・・
(中略)・・・精神科医と相談しながら支援を行っていきたい。

様式 1**1. 受講者情報**

- ①都道府県・市名：
 ②施設名：
 ③職種名：
 ④受講者氏名：

2. 事例研究 「題名」(事例の内容がわかるように工夫すること)**3. この事例を取り上げた理由・動機****4. 事例の概要 (※利用者個人が特定できないように配慮すること)**

(1) 氏名・性別・年齢	
(2) 入所年月	
(3) 入所理由	
(4) 現在の心身の状況	
(5) 既往病歴	
(6) 生活歴の概要	
(7) 家族構成図	
(8) 施設内友人との交流関係	
(9) 趣味・クラブ活動等の参加状況	
(10) その他	

5. 援助経過の要約 (この部分がメインとなるので、具体的に記述すること)

- ① 初期の状況 (問題の発生、アセスメント、支援計画、実施結果 等)
 ② 中期の状況 (その後の変化、アセスメント、支援計画、実施結果 等)
 ③ 現在の状況・今後の見通し

6. 評価と反省